

京都セミナー

The origins and impact of 'child removal' in Britain and beyond: a life course approach



Pamela Cox
エセックス大学教授
イギリス社会史学会会長
女性、子ども、犯罪など、
社会史的視点からの著書多数

日時：2017年4月15日（土） 14:00-17:00
場所：同志社大学烏丸キャンパス志高館 SK214

〈プログラム〉

14:00-14:10 開会

14:10-15:10 報告 : Pamela Cox

タイトル : The origins and impact of 'child removal' in Britain and beyond: a life course approach

15:10-15:30 コメント奥田伸子(名古屋市立大学)

15:30-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:00 質疑応答・ディスカッション

17:00 閉会

使用言語：英語

主催：

科研 19世紀英領植民地世界における「家族の標準化」とその限界」(代表:並河葉子)

科研 イギリス帝国と近代日本 帝国諸事業・思想の越境的伝搬と展開」(代表:吉村真美)

共催：

科研 「新しい女性とアジアの近代-情動にみる思想・価値観の形成過程の比較研究」(代表:山口みどり)

イギリス女性史研究会

関西イギリス史研究会

問い合わせ:namikawa * inst.kobe-cufs.ac.jp

(送信時には*を@に置き換えてください)

東京セミナー

Modernity and New Women : 'Shop- Girls' in Britain and Japan

日時:2017年4月8日(土) 13:30~17:00 場所:東京大学東洋文化研究所 3階大会議室

主催:科研「新しい女性とアジアの近代-情動にみる思想・価値観の形成過程の比較研究」(代表:山口みどり)

共催:イギリス女性史研究会

科研 「19世紀英領植民地世界における「家族の標準化」とその限界」(代表:並河葉子)

科研 「イギリス帝国と近代日本 帝国諸事業・思想の越境的伝搬と展開」(代表:吉村真美)